一緒に
カンタン!

税理士さんと一緒に使う
自計化基本ガイド

税理士さんと同じ画面を共有できるので安心です

Powered by クラウド会計ソフト freee(フリー)

はじめに

自計化への道

自計化は企業のみなさまが日々発生する取引を会計ソフトに登録し、それが正しいかどうかを会計士・税理士の先生にチェックしていただくことですが、目的によって必要なポイントが異なってきます。

コストダウンが目的の場合

ソフトウェアが安価になったとしても、経理業務を自社で行う分、作業コストが発生します。
作業時間が増えすぎて、経理担当者の負担が大きくならないよう、自社にあった記帳方法をみつけていきましょう。

会計データを経営に活かすことが目的の場合

数字を経営に活かしたい場合、定期的に税理士の先生にチェックしてもらうことで、正しい数字を見ることができます。
コンサルティングや経営アドバイスが必要な場合は、契約したサービス内容に含まれるかどうか確認しておきましょう。

1. freeeのコンセプト

スモールビジネスに携わるすべての人が創造的な活動にフォーカスできるよう

夢を持って起業や独立をしても、経理などの面倒なバックオフィス業務に追われることが多いのが現実。だからこそfreeeは、スモールビジネスに携わる誰もがより本業にフォーカスできる社会を実現します。

カンタン登録

日付・金額・用途だけで主な登録ができます。

ミスを減らせる

入力を一部自動化することで、大切な会計データのミスを減らすことができ、税理士さんが同じ画面をみているので安心です。

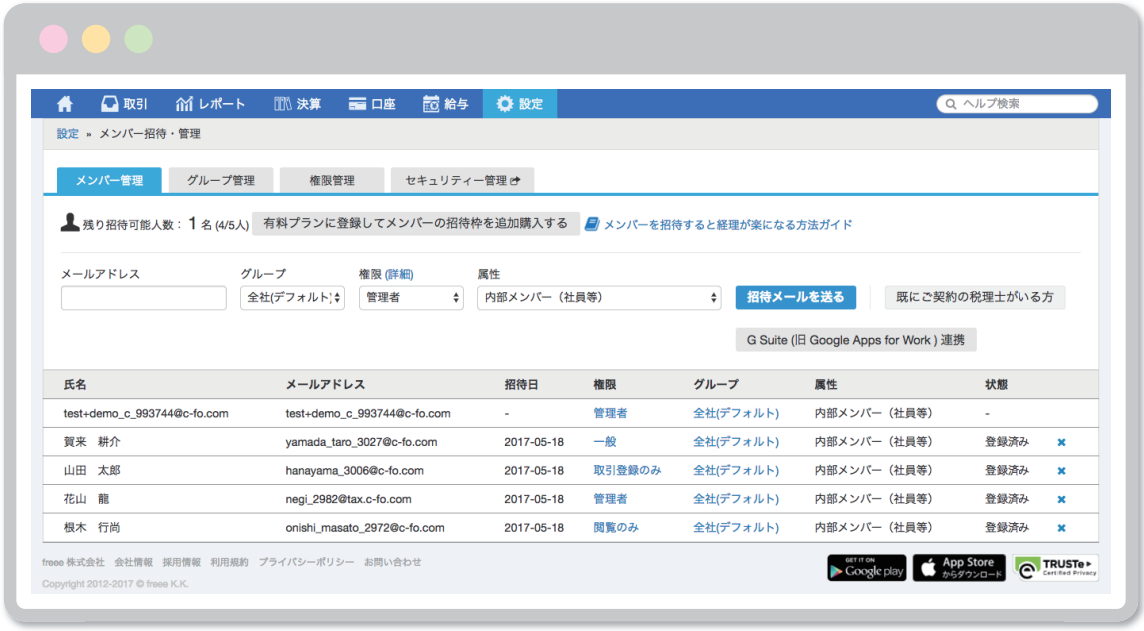
必要な情報をしっかり見える化

経営に必要な各種レポートをいつでも確認できます

2. まずは税理士さんを招待しよう

freeeは追加2名まで、追加費用なく従業員・税理士さんを招待することが可能

freeeの認定アドバイザーさんであれば、追加枠を消費することなく無料でfreeeに招待することができます。
招待した税理士さんに招待メールが飛び、freeeのアカウントが新規発行され、税理士さんはいつでも御社の画面を見れるようになります。



freee活用のヒント：いまから税理士さんを探す場合は、無料でピッタリの方をご紹介するサポートを行っています。

3. freeeの登録方法は7種類

会計データへの記帳方法は全部で7種類

■通常登録　■スマホアプリから登録
■オンラインサービスと同期で登録（自動）
■領収書から登録（自動）　■請求書作成で登録（自動）
■経費精算で登録　■データインポート

freee活用のヒント：オンラインサービスをお持ちでしたら同期による登録、
掛売りが発生する場合は請求書からの登録、
現金払いの領収書はスマホからの登録がおすすめです。

4. 登録したら税理士さんに見てもらおう

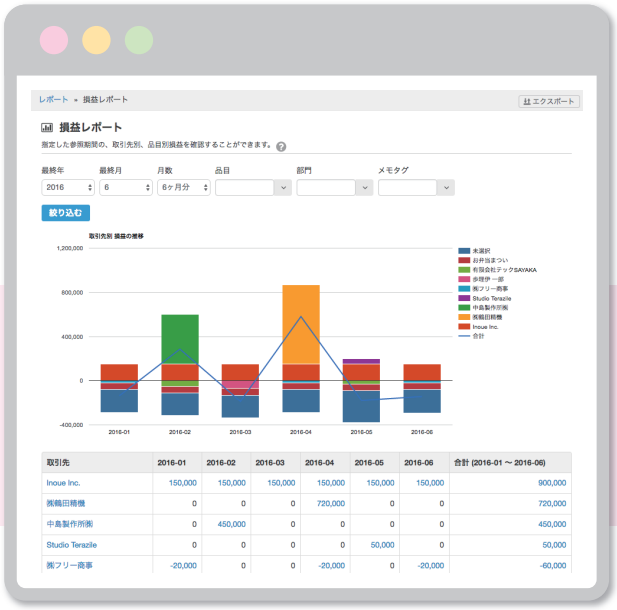
なにかあれば、freee上でコメントのやりとりが可能

招待を受けた税理士さんは、御社のfreeeの情報をそのまま見れますので、提出用のExcelファイルをまとめるなどの作業は不要になります。
権限は好きに設定することができますが、一般権限があれば登録した取引を直接修正してもらうことも可能です。

5. 経営に必要な情報をリアルタイムで

freeeでは、経営に必要なデータをいつでもみることが可能

定期的に税理士さんにデータをみてもらうことで、常に最新の正しい経営情報をfreeeでカンタンに確認できるようになります。



6. 税理士さんは大切な経営パートナー

経営の意思決定はよりスピーディに

税理士さんは、あなたの会社の強力な経営パートナーであり、先生と一緒に会計データのリアルタイム化を推進することで、意思決定はよりスピーディになります。
freeeは、自計化をすすめる企業様と、企業の経営パートナーである税理士・会計士さんを応援していきます。

freee活用のヒント：freeeに対応している税理士・会計士の先生は「freee認定アドバイザー」という資格を保有しており、サポート実績に応じて一つ星から三ツ星に分かれています。

あとがき

ご案内した機能の使い方で分からないことなどがあれば、freee画面右下のチャットサポートからお気軽に聞いてみてください。
その他の詳しい使い方は、ヘルプページまたはマニュアルでもご紹介しています。

ヘルプページ
https://support.freee.co.jp/hc/ja

はじめてのfreee使い方マニュアル
https://goo.gl/tZGYxf

新機能のお知らせはブログでご紹介していますので、ぜひご覧ください。
https://www.freee.co.jp/blog